



# 読みの苦手さの早期発見と その後の支え

第23回LD学会シンポジウム  
「発達障害に特化した民間クリニックの  
LDへの取り組みと提言」

北里大学医療衛生学部  
言語聴覚士 石坂郁代

# 文字言語の起源

## ▼7万年前～1万年前

- ▼シンボルによる表象

- ▼音とシンボルの対応

## ▼紀元前3千年頃

- ▼楔形文字

- ▼表語文字(ヒエログリフ)

## ▼紀元前1900年頃

- ▼表音文字(アルファベット)の発明



図 2-4 楔形文字の例

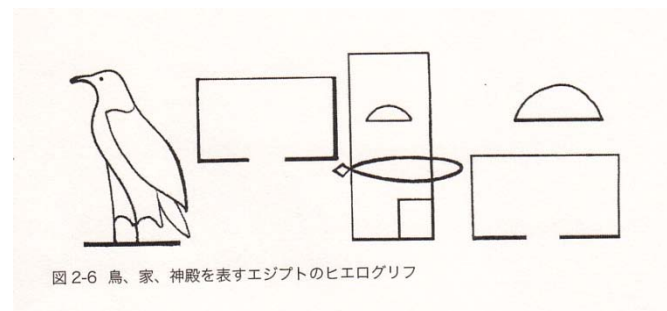
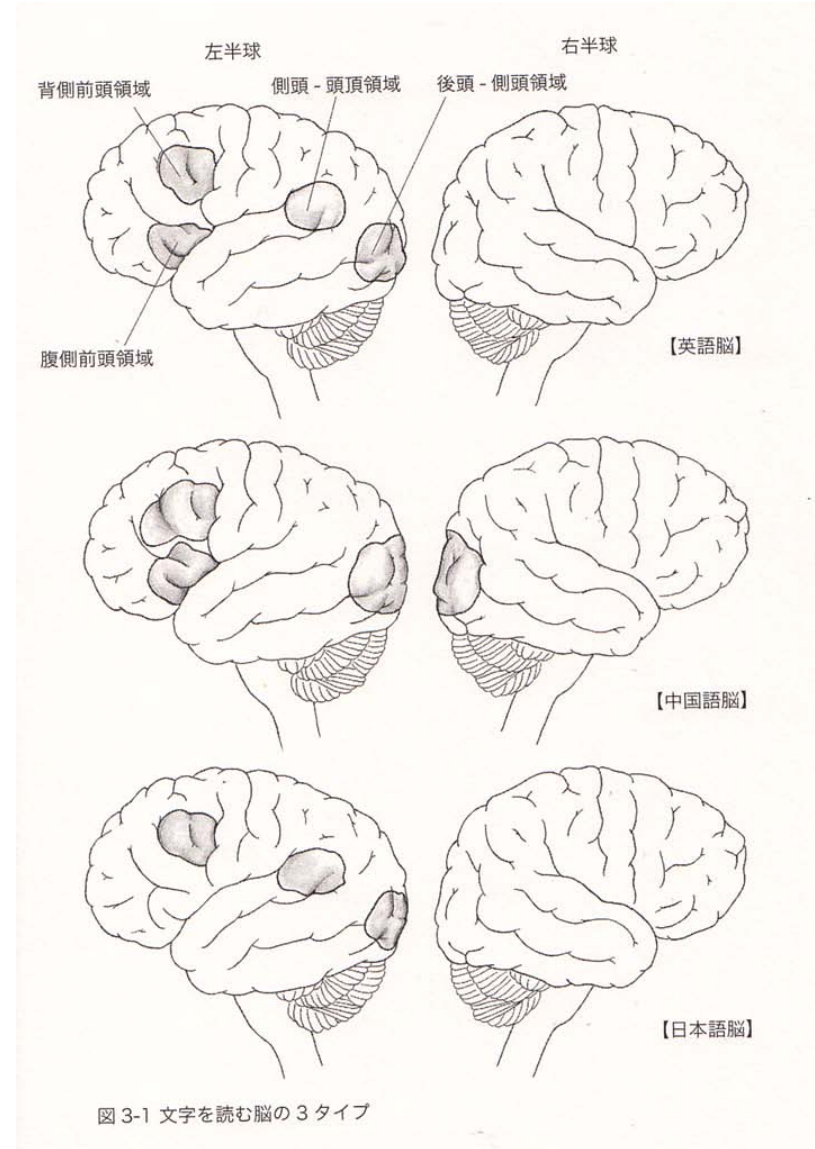


図 2-6 鳥、家、神殿を表すエジプトのヒエログリフ

# シンボルを読む脳

- ▼「意味のあるもの」と認識する
  - ▼ 視覚野の特殊化
- ▼ 視覚表象を概念情報と結びつける
  - ▼ 異なる感覚情報を「連合野」で結び付ける
  - ▼ 文字体系によって脳の機能構造が異なる



# 文字の認識の発達

## ▼1歳過ぎ

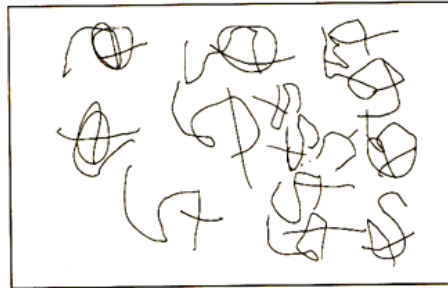
- ▼ 新聞を広げる真似
- ▼ 絵本を広げてめちゃくちゃ読み

## ▼3歳頃：プレリテラシーの発達

- ▼ 自分の名前だけは見つけられる
- ▼ 自分の名前を言いながら直線を組み合わせて文字様のものを書く
- ▼ 「お手紙」を書く

## ▼このような行動が無い場合は要注意

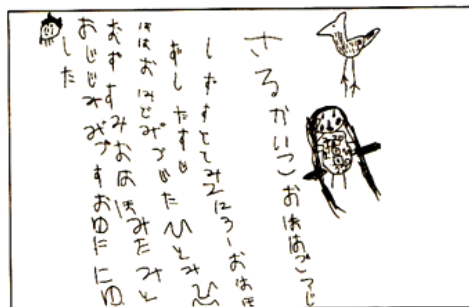
■図2 擬似文字による「お手紙」の表現の例（4歳0か月）



■図3 文字および擬似文字による「お手紙」の例（4歳4月）



■図4 文字による表現の中に意味のある単語も含まれる「お手紙」の例（4歳8か月）



# 読字率・書字率の月齢発達

|     | 読字     | 書字    |
|-----|--------|-------|
| 50% | 4歳8カ月  | 5歳9カ月 |
| 90% | 5歳10カ月 |       |

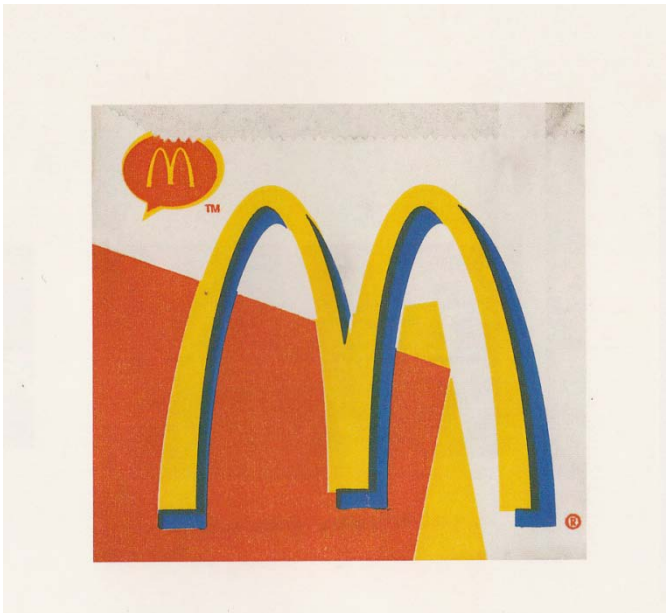
- \* 5歳後半では平仮名のほとんどの文字が読める
- \* 読める文字の半分は書ける
- \* 文字を教えない幼稚園・保育園もあるので注意

# 文字習得の基盤としての音韻認識

- ▼ 音声言語能力はその後の文字言語習得の基盤となる
- ▼ 音韻認識の形成が重要
- ▼ ことばの「音」の構造を把握して自由に操作できる能力
  - ▼ 4歳後半：音節分解と語頭音抽出
  - ▼ 5歳前半：2モーラ語の逆唱
  - ▼ 6歳前半：3モーラ語逆唱

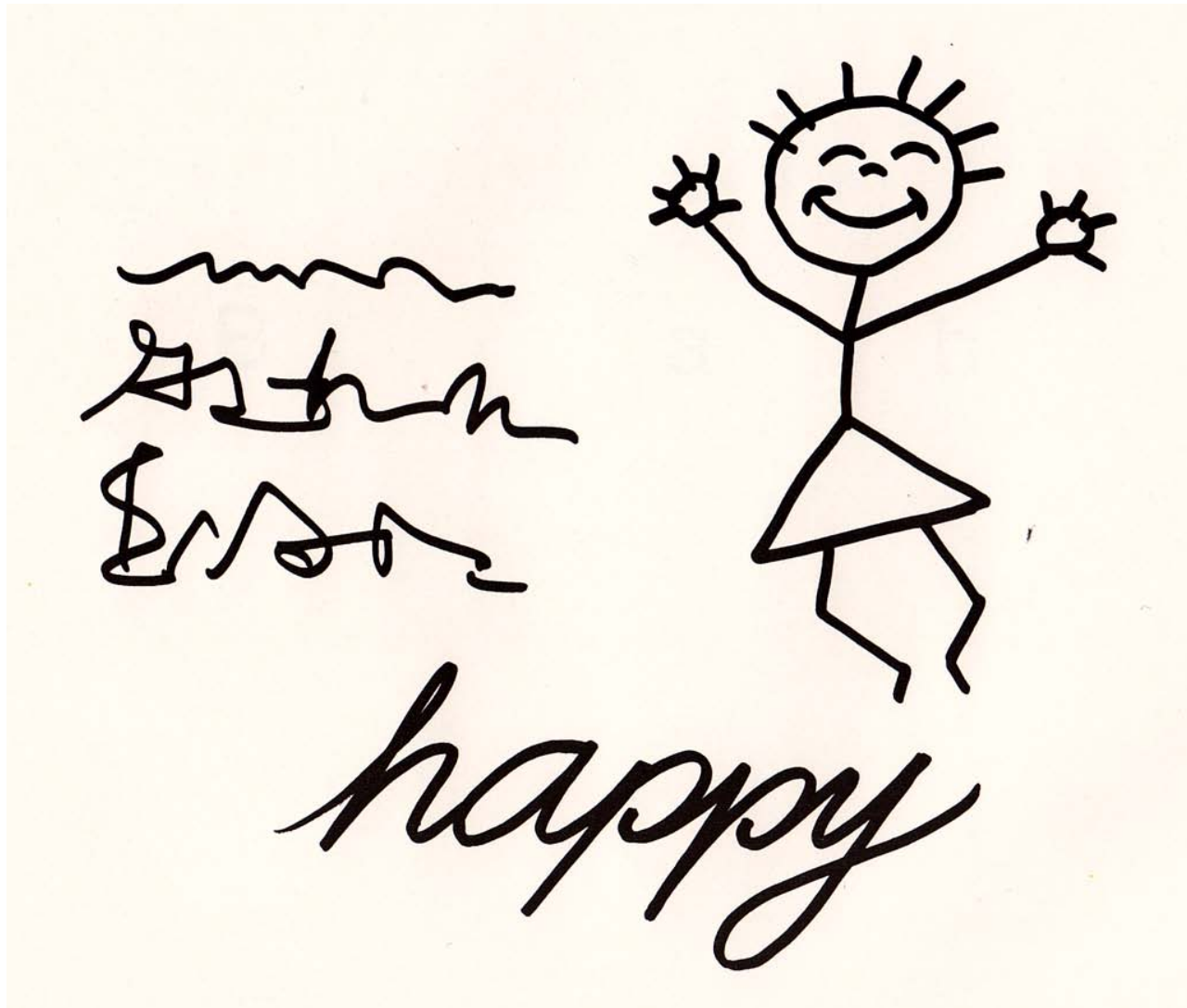
# シンボルの視覚的認識

- ▼視覚的に意味の塊を見分ける能力
- ▼標識やロゴマークの意味が分かる
- ▼Test of Early Reading Ability(TERA3)









# 早期発見(1) (稲垣ら, 2010)

## ▼ 読みの症状(書字症状と併せて7つ以上)

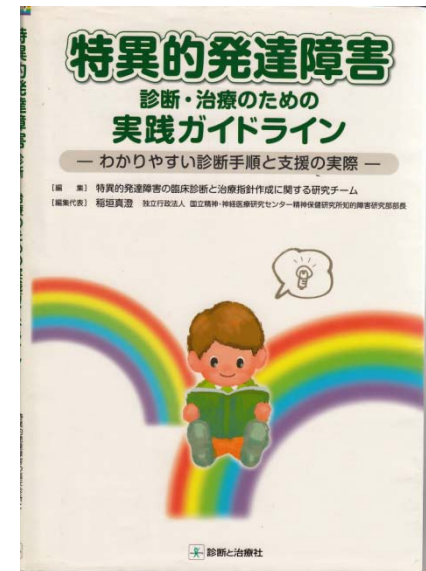
▼ 逐字読み

▼ なぞり読み

▼ 単語文節の区切りの誤り

▼ 単語や分の読み飛ばし

▼ 文末の勝手読み



## ▼ ひらがな音読検査(稲垣ら, 2010)で音読時間が平均+2SDを越える課題が2種類以上

## ▼ 両方あれば, 発達性dyslexiaの可能性80%

# 早期発見(2)

- ▼ RTIモデル (Response To Intervention, Instruction)
  - ▼ 診断 (2学年の遅れ?! ) が出てからでは遅すぎる
  - ▼ 早期に介入して変化を見ながら対応
- ▼ 鳥取大学方式 (小枝達也先生, 「ディスレクシアのページ」)
  - ▼ 1年生7月に評価 → 音読指導
  - ▼ 同12月に評価 → 音読指導継続
  - ▼ 同3月に診断手続き

# 早期支援・継続的支援

- ▼ まずは、ひらがなの文字一音対応  
(decoding) の丁寧な指導
- ▼ 文字列を意味ある塊として捉える練習  
(sight word)
- ▼ 語彙力を高める
  - ▼ 漢字を早期から導入する
  - ▼ 読み聞かせをする(聞くことで新しい語彙を獲得する)

# 参考文献(順不同)

- ▼「プルーストとイカ」メアリアン・ウルフ, 小松淳子訳 インターシフト 2008
- ▼「第8章 文字の知識と音韻意識」高橋登 ことばの発達入門 大修館書店 2001
- ▼「3 読み書きの発達」原恵子 言語発達障害学 医学書院 2010
- ▼「第10章 幼児期の話しことばの発達」秦野悦子 発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論 2007 医学書院